

# 春の小川通信

2023. 3

NO.40



だれもが安心して暮らせる地域に。  
障がい者の地域での暮らしを支援しています。

特定非営利活動法人 春の小川

〒399-0706 長野県塩尻市広丘原新田 93-1  
電話/FAX 0263-51-6393 E-Mail sarasara@diajanis.or.jp  
発行責任者/理事長 小沼芳博

## 小さな声の大きな力

理事長 小沼 芳博

障がい者虐待防止に関しては、委員会の設置や担当者の配置、研修が義務化され、すでに一年が経過しました。それ以前から、虐待防止に関しては行政から研修会等も実施され、相当な努力をしてくれていると思います。しかし残念ながら、一部とはいえ医療機関や介護施設も含めると、なかなかなくなっていくというのが現状です。

今までの対策は、規程をつくったり罰則を設けたりと、どうしても規制する方向とならざるを得ません。個人的には異なる視点で何かできないかと思っていましたが、最近「エシカル」という言葉を耳にし、少し調べてみました。

「法的な縛りはないけれども、すべての存在がより良くあるために、多くの人にとって倫理的な行動を個々人で意識し行っていくこと」とのことです。すでに先進的企業や団体の指針としてかなり以前から取り入れられており、SDGsにもつながる考え方ようです。もともと日本人が古くから大切にしてきた、「お互いさま」や「もったいない」、「おてんとうさまが見ている」といった精神に近いので、より多くの方々に、身近なものとして受け止められるようです。

私が好きな「分別の肝要は仁愛なり」の仁愛とも一脈通じているような気がします。障がい者福祉に携わる身として、精神的基盤としてこのエシカルの思想を加え、組織の利害ではなく利用者本人の幸福な生活を第一に、小さな声でも積み重ねていけば、より大きな動きにつながり、社会を変えていく力につながると信じています。

## もしもに備えて

グループホームでは毎年NHK 歳末たすけあい募金様から、入居者の皆さんの生活の質を向上するための物品を申請し、寄贈をいただいております。今年度は、ヘルメットと非常用持ち出しリュック、防災ラジオを寄贈していただきました。

リュックには、ラバー手袋、ホイッスル、懐中電灯、雨具、アルミブランケット、タオル、マスクなど30点もの防災用品が入っています。ラジオは、小型で軽量なだけでなく、ソーラー・手回し充電ができ、防水、LEDライト搭載などの多機能タイプです。

今まで気になっていましたが、やっと揃えることができました。避難時や災害時に困らないような準備が一つ増え、安心につながります。また、水やカップ麺などの寄贈もあり、備蓄品の補充ができました。

ありがとう  
ございました



防災ラジオ



リュックの中には・・・